

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援事業所 えんじょいんと

公表日 令和7年2月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1児童に対し、54㎡の空間を確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		1：1で、常に療法士が対応を行っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		児童発達支援事業所内は全バリアフリーとなっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		常に整理整頓を行い、必要以外の物は端に収納している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		1人の児童に対して1つの部屋を全て利用している。	
*	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		同じ専門療法士内に加え、児童発達支援管理者も交えて参画している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		当該該当期間中に児童発達支援事業の利用者がいなかった。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝のミーティングで状況を説明し、業務改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		利用児童がいないため、第三者評価を行えていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的にOJT以外の研修も実施しており、職員としての質の向上を常に図っています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援プログラムを作成し、保護者様の署名をいただいております。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用時にアセスメントを実施し、保護者様の意向を経てニーズを決定して児童発達支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		専門支援員を含めた朝のミーティングで支援内容を決定し、保護者だけではなく児童のニーズも検討した支援を実施しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		サービス計画はアプリを通じて全職員に開示されており、適宜朝のミーティングで支援内容を確認しております。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アプリでのフォーマルなアセスメントに加え、朝のミーティングで常時状態の把握に努めております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		サービス利用時には本人支援の他に時間を取って家族支援や移行支援についても並行して実施しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門支援員、児童指導員を含めた勤務職員でミーティングを実施し、プログラムを企画しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		いくつかの支援項目それぞれに活動を決め、固定化しないように評価しながら療育を実施しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	基本的に1：1の為、集団行動は実施できておりません。	イベントとして、児童発達支援の利用者が増えれば集団活動での療育も実施していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティングで常時状態の把握に努めており、適宜助言を経て療育を実施しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		Zoom等の機器を用いて会議を行い、支援内容の適正について共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回実施した内容については記載し、保護者様にも開示しております。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○		定期的なモニタリングを行う利用児童がいない為、実施できていませんが、モニタリングについては定期的にも実施します。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者を中心として連携を行い、実際に専門支援員とZoom等を利用して担当者会議を行っております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		体制としては整えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様の御意向がよろしければ、相互に情報交換を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	保護者様の御意向がよろしければ、相互理解を図ります。	

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			実際に来所していただき、状況を確認して情報交換を実施していました。	地域の児童発達支援センターを利用している児童が存在しておりません。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状、利用児童が1名のみの為活動できる機会を確保できておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、支援終了時に保護者様と情報交換を行い、共通理解に努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		Zoom等の機器を用いてサービス提供時間外に家族向けの情報提供や家族支援を実施しております。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明書を作成し、必ず説明するようにしております。神戸市からも丁寧な説明書だと言言葉をいただいております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメント表を作成し、家族の意向を元に、児童の意向も重視して支援計画を作成しております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		書面について、必ず同意を得て計画を作成しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		SNSや電話対応、必要があれば実際に自宅までお伺いさせていただいての助言と支援を実施しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		利用児童が1人の為、保護者会ができておりません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情処理窓口を設定し、全ての苦情については記録し適切に対応できるよう施設としてマニュアル化しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		個人についてはSNSを利用し、アプリを利用してこどもや保護者に対して発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		上記については、個人情報の公開範囲を設定し、保護者様の同意の元実施しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭だけではなく、情報機器や絵カード等での情報伝達の手法を取り入れております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		イベントとして、地域の企業に協力していただいたり、地域のイベントに参加する等を行っております。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		全てのマニュアルを職員・家族等に周知しております。また、訓練も適宜行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、研修・訓練を実施しております。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント表を作成し、児童の利用前に必ず確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		適宜保護者様を通じて医師の助言をいただいております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいた研修・訓練を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画について、家族様へ周知を行いました 活動内容についてはSNSを利用しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し、適宜再発防止と改善点についてミーティングを行い、回覧しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		採用時に身体拘束及び人権擁護研修を行い、適切な対応を心がけております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の指針を作成し、必ず同意を得た後に実施する形にしております。	